

6 地区別実施計画

I 肱川地区復興まちづくり計画

【令和2年6月策定】

1 被災状況

肱川地区は、鹿野川ダム直下の大和区、中野区、肱川支所周辺の下鹿野川・上鹿野川区をはじめ、汗生区、八重栗区、山穂区、萩野尾区、道野尾区、共栄区において、床上浸水被災世帯が121世帯となるなど、肱川及び河辺川沿川を中心に大規模な被害が発生しました。

2 復興課題と現状

(1) 住まいと暮らしの再生

肱川地区における半壊以上の被災世帯は111世帯、家屋解体は64件となっており、大駄場仮設団地やみなし仮設住宅などに入居されている世帯も多く、アンケート調査結果（平成30年度に2回実施）からも、住宅の修理や再建等にお困りの方が多い状況です。

(2) 安全・安心の確保

令和元年12月に肱川水系河川整備計画が変更され、肱川地区において「必要に応じて堤防整備等を実施する」などとなっており、アンケート調査結果からも「自然災害に対する安全性の確保」が最大の課題となっています。

(3) まちの再生

特に肱川支所周辺エリアについては、肱川支所をはじめ、公民館や集会所などの公共施設や多くの商業施設が被災し、コミュニティの形成及びまち全体の再建が課題となっており、アンケート調査結果からも日常生活の利便性の確保を多くの方が望まれています。

3 復興課題・現状に対する具体的な取組

(1) 住まいと暮らしの再生

住まいと暮らしに係る「復興支援担当窓口を肱川支所に設置」し、被災者のニーズを把握しながら、災害公営住宅の整備をはじめ、地域コミュニティの再生に向けた支援に取り組みます。

① 肱川支所「復興支援担当窓口」の設置（H31.4から）

専属職員2名を配置し、肱川支所内での窓口相談や訪問・現地での相談等対応

② 住まいの再建相談会の開催

NPO法人「YNF」による相談会や勉強会を開催

（肱川地区：令和元年6/20、6/23、7/21、8/24、9/27開催）

③ 災害公営住宅の整備

下鹿野川区において「木造平屋一戸建て」を「10戸」整備（R3.4入居開始予定）

(2) 安全・安心の確保

肱川地区の治水対策等については、各種説明会や座談会などでの意見や要望等を集約し、国や県、他市町、関係機関と連携・協力していくとともに、必要な事業の実施や支援等について、国や県に要請をしていきます。

① 鹿野川ダム改造事業に伴う野村ダム・鹿野川ダムの新たな操作ルールの考え方に關する説明会の開催

ア 肱川風の博物館において令和元年5月8日に開催

イ 4会場での住民説明会及び紙面による意見募集を行い、意見に対するダム管理者の考え方を公表するとともに関係機関との協議を経て、令和元年6月6日から運用開始

ウ 新操作ルールにより、平成30年7月洪水時の肱川地区の被災世帯は160世帯から50世帯に軽減

② 県による肱川水系河川整備計画の見直し・検討

ア 肱川水系河川整備計画の見直しについては令和元年12月18日決定（7月23日変更原案公表 → 住民説明会を肱川風の博物館において8月5日に開催）

イ 護岸の整備や破損構造物の撤去は県の河川災害復旧事業で実施

ウ 河道内の樹木の伐採や河道掘削は県の河川管理事業で実施

③ 鹿野川地区河辺川沿いのパラペットによる護岸整備（愛媛県）

肱川（河辺川合流付近）の河道掘削を実施し、パラペットによる護岸を整備（パラペット＝越水を防ぐためのコンクリート壁構造物）

④ 防災力の向上

多様な情報伝達手段を検討していきますが、次のような情報が入手できます。

ア 防災行政無線の放送をフリーダイヤルで聴取、スマートフォンアプリで情報入手
0120 (00) 8863 (令和2年3月から)

イ 大洲市災害情報メールを登録することにより、災害情報等（避難準備情報や避難所開設情報など）を受信
【大洲市HP】 <https://www.city.ozu.ehime.jp>



ウ 鹿野川ダムの水位及び貯水率を国交省（川の防災情報）HPで閲覧（鹿野川ダムの放流等の状況を10分、60分ごとに更新）
<https://www.river.go.jp>

エ 河川の状況を川の水位情報HPで閲覧（鹿野川ダムと鹿野川大橋付近にカメラ設置）
<https://k.river.go.jp>

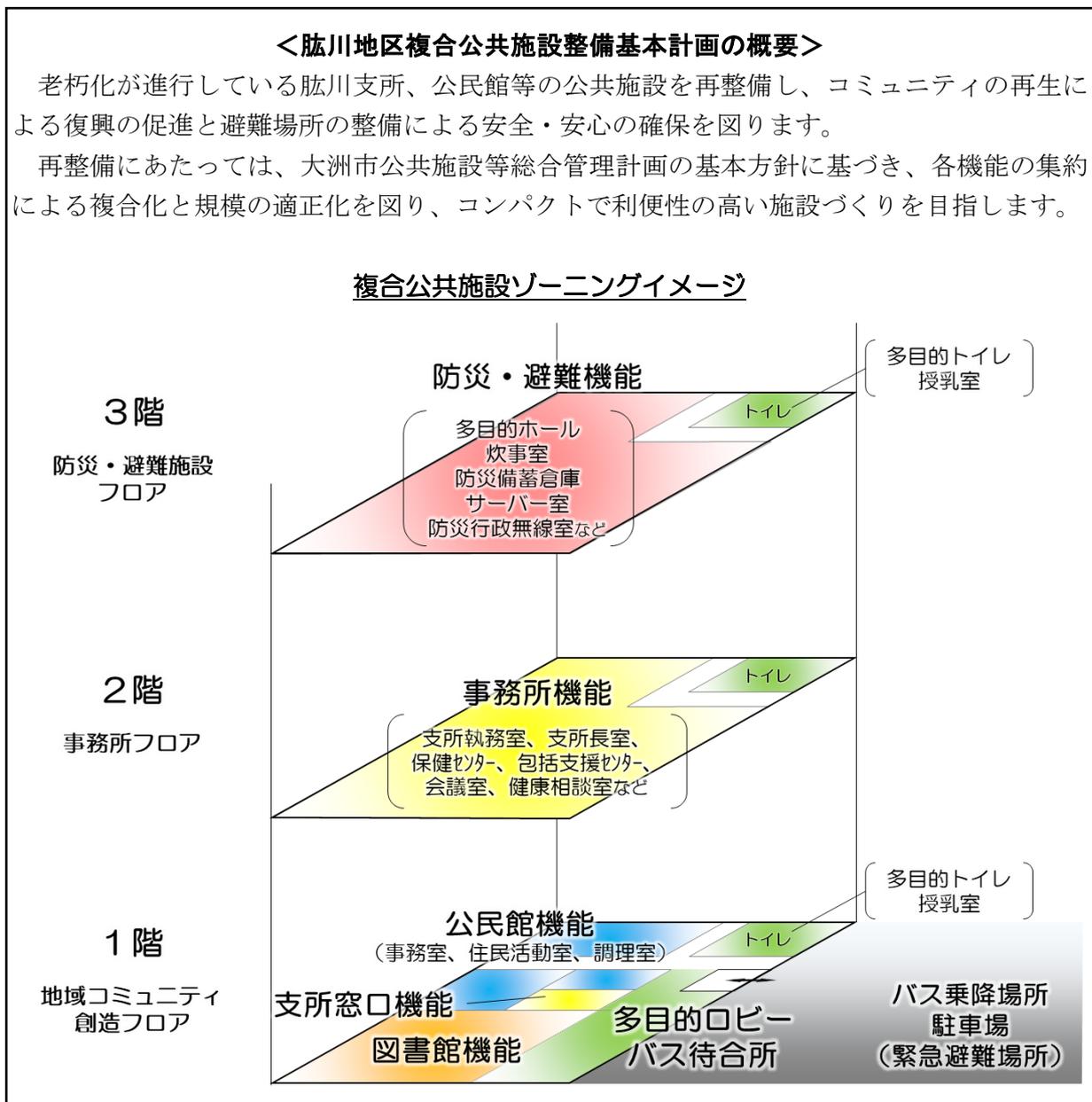


オ 国交省による、鹿野川ダム放流に関する情報をツイッターで入手
https://twitter.com/mlit_yamatosaka

(3) まちの再生(鹿野川地区復興事業計画図参照)

支所、公民館及び図書館などの行政機能、コミュニティ機能及び防災機能を取り入れた「複合公共施設」の整備をはじめ、次の事業を実施・検討し、まちの再生を図るとともに安全な避難場所を確保していきます。

- ① 災害公営住宅整備（市）：再掲 【住まいと暮らしの再生】
- ② 鹿野川地区河辺川沿い護岸整備（県）：再掲 【安全・安心の確保】
- ③ 急傾斜地対策事業の実施（県） 【安全・安心の確保】
- ④ 防災機能（緊急避難場所・避難所）を備えた複合公共施設整備（市）
【安全・安心の確保】【生活基盤の整備】
- ⑤ （主）小田河辺大洲線・（主）肱川公園線の路肩・歩道整備（県・市） 【生活基盤の整備】
- ⑥ 駐車場（緊急避難場所）・広場の整備（市） 【生活基盤の整備】
- ⑦ 鹿野川バス待合所（乗降所）の整備・仮復旧（市） 【生活基盤の整備】
- ⑧ 肱川中学校施設・敷地盛土整備（国・市） 【生活基盤の整備】



(4) その他の事業（要望等対応状況）

① 住まいと暮らしの再生

ア 公費解体終了後の家屋解体については「老朽危険空き家等の除却補助制度」を活用
 イ ラジオ難聴地域改善については、NHKが調査を実施し、カーラジオでは受信できることを確認済み

（受信に関する相談「NHK 受信に関する相談窓口」電話 0570-00-3434）

なお、屋内で聞く場合は聞こえづらくなるため、メディアに応じて次の対策が有効

<p>【AM の場合】 I ラジオを窓際に設置 II 受信局の変更 R1：大洲 792kHz、野村 1323kHz 松山 963kHz R2：松山 1512kHz、大洲 1476kHz III ラジオの向きを調整 （AM はアンテナ内蔵）</p>	<p>【FM の場合】 I ラジオを窓際に設置 II 受信局の変更 FM：大洲 85.9MHz 野村 85.6MHz III ラジオのロッドアンテナの長さ及び方向を調整</p>
---	--

② 安全・安心の確保

ア 通学路の点検・整備については、学校へ情報提供、県へ連絡し応急処置済み
 イ 廃棄物仮置場として使用した高砂グラウンドの安全確保を図るため、表土の入替作業を実施 ⇒ 混入状況に応じてはぎ取り厚を調整するとともに、撤去くずの確認作業を継続して実施（令和元年8～11月）、転圧作業実施（令和2年1月）
 ウ 山鳥坂ダム関連工事車両は愛媛県施工の「バイパス道路」を通行予定
 エ （主）肱川公園線（赤岩～道野尾間）の道路改良事業検討・実施（県）
 オ 元宇和川中学校の建物は令和2年2月に撤去（真砂土埋め戻し）
 カ 市道滝山丸淵線の道路環境整備事業（舗装補修、側溝・ガードレール整備等）
 キ 国土交通省ではダム放流サイレンの試験吹鳴に対するアンケート調査を行うなど情報提供の改善に向け検討・実施（サイレン吹鳴方法の変更、サイレン・スピーカ等の設備改良・増設、電光表示板・回転灯整備、テレビテロップ・エリアメール等の活用など）

4 ビジョン別実施計画

大洲市復興計画に位置付けている肱川地区に関する復興に向けた事業を整理します。

(1) 市民生活の再生

No.	事業メニュー	概要	期間
6	応急仮設住宅の供与	住宅が全壊等の被害を受け、自らの資力では住居が確保できない被災された方に対して、愛媛県が一時的な住居を無償提供（徳森仮設団地・大駄場仮設団地）	2018.9～ 2021.7
7	災害公営住宅の整備	一時使用入居者や応急仮設住宅、応急借り上げ住宅等に仮住まいされている方で、自力再建が困難な被災者の新たな住まいの確保を図るため、災害公営住宅を整備	2018.11～ 2021.9
8	人口減少対策	人口流出対策及び定住対策として仮の住まいから、市内住宅への転居に係る経費に対する補助制度を創設	2020.4～ 2022.3
22	集会所の復旧	<市立集会所> 業者不足による修繕の遅れが予想されることから、仮設集会所の整備に対して補助制度を創設し、市外業者等を活用しながら、可能な限り早い復旧修繕を図るとともに、集会室のみの部分修繕発注により、住民が集まる場所の確保を図る	2018.7～ 2019.12
24	自治会等活動に対する支援	必要な支援策を講じるため、各自治会に対して被災状況等を含めた調査を行い、調査結果を踏まえて、自治会等活動の早期再開を図れるように支援策を講じる	2018.12～ 2020.3

(2) 生活基盤の再生

No.	事業メニュー	概要	期間
25	国補災害 公共土木施設災害復旧事業	市道久下大屋敷線、市道谷口敷水線ほか	2018.7～ 2021.3
32	肱川支所庁舎の復旧	床上浸水(424cm)による2階事務所(床上90cm)等の復旧	2018.7～ 2018.11
33	肱川保健センターの復旧	2階床上浸水(40cm)による事務室等の復旧	2018.10～ 2019.3
34	肱川基幹集落センターの復旧	床上浸水(280cm)による事務室等の復旧	2018.10～ 2019.3
35	肱川公民館災害復旧事業	床上浸水による肱川公民館の復旧	2018.7～ 2019.9
36	図書館および肱川分館災害復旧事業	図書館床上浸水(10cm)、肱川分館床上浸水(270cm)により被災したことからの復旧	2018.7～ 2019.5
40	予子林体育館裏法面崩土除去事業	体育館敷地裏側の法面が崩落し、近隣の農地に土砂が流入したことからの復旧	2018.7～ 2018.11
41	肱川農業者トレーニングセンター災害復旧事業	床上浸水(120cm)により被災したことからの復旧	2018.7～ 2019.6
44	下石丸ふれあい広場災害復旧事業	鹿野川ダム直下のグランドのため、直接ダム放流の影響を受け、トイレ及び倉庫棟の設備のみでなく、グラウンド表面も流出したことからの復旧	2018.7～ 2020.3
45	高砂運動場災害復旧事業	浸水により、両翼ネットフェンス、バuntingゲージ、トイレ施設等が破損し真砂土及び備品倉庫4棟も流出、また、発災後は、災害廃棄物仮置場(第5仮置場)として使用したことからの復旧	2018.7～ 2019.7
50	肱川小学校施設災害復旧事業	床上浸水等により被災したことからの復旧	2018.7～ 2019.3
51	肱川中学校施設整備事業	特別教室棟(140cm)及び屋内運動場(140cm)の床上浸水、運動場の冠水ほかによることから2m盛土し改築整備	2018.7～ 2023.3
52	公共交通の維持・確保	被災により交通手段の確保が困難な地域については、道路通行制限等の条件に応じて、公用車やリース車両を活用し、交通手段の確保を図る 被災地の交通利便性の確保・向上に向けて、地域公共交通網形成計画に基づき、幹線の維持・確保及び支線の見直しを進める 鹿野川バス待合所(交通結節点)については、鹿野川地区整備計画に合わせてバス停の位置等を検討し、必要に応じて整備を進める	2018.7～ 2024.3
53	市内高速情報通信網(光回線)の整備の検討	各地域によって様々な通信環境であり、地域の復興のために、全域で光通信が可能となる通信網を検討する 今後も、発生が懸念される災害に備えるために、災害に強い通信基盤の整備が必要であり、民間通信事業者による通信網の確立を目指す	2018.7～ 2024.3

(3) 経済・産業の再生

No.	事業メニュー	概要	期間
57	大谷地区省エネルギーモデル温室の復旧	管理棟敷地崩壊等による各施設の復旧	2018.9～ 2021.3
70	肱川商業集積施設の復旧	床上浸水(200cm)による各施設の復旧	2018.8～ 2019.3

(4) 防災力の向上

No.	事業メニュー	概要	期間
76	避難判断基準の見直し	現行の避難判断基準については、明確な基準がなかったり、水位による判断のみとなっているため、ダム放流量等による基準の設定や、地域の追加などについて検討を行い、避難判断基準の見直しを図る	2018.10～ 2019.5
77	防災行政無線の修繕及びデジタル化による整備	水没した防災行政無線の各機器の修繕を図るとともに、肱川・河辺地区の防災行政無線のデジタル化による整備促進、戸別受信機の配付など各戸の聞き取り環境の改善を図る	2018.8～ 2022.11
78	多様な情報伝達手段の確保	現在の防災行政無線、防災メール、テレビ・ラジオ、消防団等による伝達手段に加え、より確実に住民へ災害情報が伝えられる手段を検討する	2018.10～ 2021.3
79	消防団への連絡体制の見直し、消防力の強化	災害対応に当たる消防団の全ての団員まで、連絡及び情報が行き届かない事態の改善を図るため、全団員への一斉メールや無料アプリ等を活用した情報伝達手段を検討する また、今回の救助活動を教訓として、必要な資機材や車輛等を整備し、消防力を強化	2018.10～ 2021.3
80	国・県による河川激甚災害対策特別緊急事業への協力・支援	国及び県による概ね5年間で緊急的に再度災害防止対策を図る河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)を円滑に実施するため、用地事務や地元調整等の協力・支援	2018.10～ 2024.3
81	肱川減災対策(内水対策)	現在の減災対策計画は、近年の大規模洪水となった平成16年、17年、23年の同規模洪水の災害防止を目標として、国、県、市がそれぞれの取組を行うため策定されているが、今回の豪雨災害を受けて、洪水規模に合わせた抜本的な見直しを行い、対策を実施	2018.10～ 2024.3
82	地域防災計画等の見直し	今回の災害における教訓や防災対応の検証を行い、地域防災計画、地域強靱化計画、各種マニュアルなどの見直し	2018.10～ 2021.3
83	自主防災組織の育成強化	今回の災害において、自主防災組織が機能しなかったところもあるため、その原因を把握し、解消に努め、防災研修の実施などによる育成強化 三善地区が取り組まれていた、地域住民自ら災害が予想される時に避難する場所やその場所への経路など命を守るための情報を認識しておくための「災害・避難カード」作成の取組を市内の全域で実施するよう推進	2018.10～ 2024.3
84	防災意識の啓発	今回の災害からの教訓・記憶を風化させず後世に伝え、将来の災害において、市民の命を守る安全な地域づくりを進めるため、ハザードマップの配布及び公共施設への浸水深の表示に加え、地区防災計画の策定を推進し、市民の防災意識の向上を図る	2018.10～ 2024.3
85	自主防災組織、自治会、消防団による広報及び連絡体制の強化、見直し	携帯電話や防災行政無線等以外の伝達手段を探る一方で、自主防災組織、自治会、消防団による広報及び連絡体制の強化、見直し	2018.10～ 2020.3

※1 事業No.については大洲市復興計画に合わせています。

※2 「網掛け」は完了した事業になります。

5 肱川地区復興まちづくり計画実施事業

No.	事業メニュー	概要	期間
1	災害公営住宅の整備(鹿野川地区)	一時使用入居者や応急仮設住宅、応急借り上げ住宅等に仮住まいされている方で、自力再建が困難な被災者の新たな住まいの確保を図るため、10戸整備	2019.10～ 2021.3
2	複合公共施設の整備(鹿野川地区)	肱川支所、肱川公民館、肱川保健センターや図書館肱川分館などの行政機能と産業・コミュニティ機能、安全な避難場所となる複合公共施設を整備	2019.10～ 2023.3
3	駐車場・広場整備(鹿野川地区)	鹿野川地区において、駐車場や広場の検討・整備	2021.7～ 2023.10
4	鹿野川バス待合所の整備	交通利便性の確保・向上に向けた鹿野川バス待合所の場所の検討・整備	2019.4～ 2023.10
5	市道滝山丸淵線の道路環境整備	ガードレール、側溝の整備や路面補修など道路環境向上に向けた検討・整備	2019.10～ 2021.12
6	肱川中学校施設の整備(国・市)	特別教室棟(140cm)及び屋内運動場(140cm)の床上浸水、運動場の冠水ほかによることから2m盛土し改築整備	2019.9～ 2022.12
7	(主)小田河辺大洲線・(主)肱川公園線の路肩・歩道整備(鹿野川地区)(県・市)	路肩整備やグリーンベルトなどによる安全対策	2019.5～ 2023.3
8	鹿野川地区河辺川沿い護岸整備(県)	平成30年7月豪雨災害規模の洪水を防ぐためのパラペットによる護岸を整備	2019.9～ 2023.3
9	鹿野川地区急傾斜地対策(県)	急傾斜地崩壊危険区域追加指定に伴う安全対策	2019.11～ 2023.3
10	(主)肱川公園線道路改良整備(赤岩～道野尾間)(県)	幅員狭小区間の道路改良整備の実施並びに道路改良の検討・整備	2018.7～ 2024.3

※ ビジョン別実施計画事業含む

6 取組状況

(1) 意見交換会(住民)

① 第1回 肱川地区復興に係る意見交換会

日時	平成30年11月29日(木) 19:00～21:30
場所	風の博物館2階 多目的ホール
出席者等	住民62名、来賓7名、傍聴10名、報道機関8社
説明者	国6名、県3名、市14名
概要	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果について 大洲市復興計画骨子(案)について 今後の進め方について

② 第2回 肱川地区復興に係る意見交換会

日時	平成31年1月31日(木) 19:00～20:10
場所	風の博物館2階 多目的ホール
出席者等	住民58名、来賓5名、傍聴7名、報道機関5社
説明者	国3名、県3名、市16名
概要	<ul style="list-style-type: none"> 市全体アンケート結果(肱川地区)について 復興に向けたモデル的事業パターンについて 地区別計画の策定方針について 今後の進め方について

③ 第3回 肱川地区復興に係る意見交換会

日 時	平成 31 年 3 月 13 日 (水) 19 : 00~20 : 20
場 所	風の博物館 2 階 多目的ホール
出席者等	住民 54 名、来賓 6 名、傍聴 5 名、報道機関 6 社
説 明 者	国 3 名、県 3 名、市 16 名
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・大洲市復興計画「肱川地区実施計画骨子 (案)」について ・「災害公営住宅に関する相談会」の開催について (日時：平成 31 年 3 月 31 日 (日) 9~18 時 場所：肱川支所) ・「復興支援担当窓口」の設置及び座談会の開催について

(2) 災害公営住宅に関する相談会 (被災世帯)

日 時	平成 31 年 3 月 31 日 (日) 9 : 00~18 : 00
場 所	肱川支所 3 階 第 2 会議室
相 談 者	13 世帯
対 応 者	市 8 名 (協力：住宅金融支援機構四国支店 2 名)
概 要	災害公営住宅入居希望者の把握を行うための相談会

(3) 座談会 (被災世帯・事業所)

① 第 1 回 肱川地区復興に係る座談会

場 所	肱川公民館 3 階 集会室
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・大洲市復興計画「肱川地区実施計画骨子 (案)」について ・今後の進め方について

ア 下鹿野川区、上鹿野川区

日 時	平成 31 年 4 月 23 日 (火) 19 : 00~20 : 50
出席者	被災者 32 名、市 8 名、NPO 法人 2 名

イ 大和区、中野区

日 時	平成 31 年 4 月 24 日 (水) 19 : 00~20 : 35
出席者	被災者 10 名、市 8 名、NPO 法人 2 名

ウ 汗生区、八重栗区、山槌区、萩野尾区、道野尾区、共栄区

日 時	令和元年 5 月 10 日 (金) 19 : 00~20 : 20
出席者	被災者 10 名、市 10 名

② 第 2 回 肱川地区復興に係る座談会

場 所	肱川公民館 3 階 集会室
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・「肱川地区復興まちづくり計画 (案)」について ・今後の進め方について

ア 下鹿野川区、上鹿野川区

日 時	令和元年 7 月 17 日 (水) 19 : 00~20 : 10
出席者	被災者 30 名、市 13 名

イ 大和区、中野区、汗生区、八重栗区、山槌区、萩野尾区、道野尾区、共栄区

日 時	令和元年7月18日(木) 19:00~20:00
出席者	被災者14名、市11名

③ 第3回 肱川地区復興に係る座談会

場 所	肱川公民館3階 集会室
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回肱川地区復興まちづくり推進協議会開催報告について ・「肱川地区復興まちづくり計画(案)」について ・今後の進め方について

ア 下鹿野川区、上鹿野川区

日 時	令和元年10月29日(火) 19:00~19:55
出席者	被災者32名、市13名

イ 大和区、中野区、汗生区、八重栗区、山槌区、萩野尾区、道野尾区、共栄区

日 時	令和元年11月6日(水) 19:00~19:24
出席者	被災者10名、市11名

(4) 肱川地区復興まちづくり推進協議会

① 第1回 肱川地区復興まちづくり推進協議会

日 時	令和元年8月28日(水) 19:00~20:10
場 所	肱川支所3階 第2会議室
出席者等	委員19名、市12名、報道機関1社
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・「肱川地区復興まちづくり計画(案)」について ・今後の進め方について

② 第2回 肱川地区復興まちづくり推進協議会

日 時	令和元年12月16日(月) 19:00~19:45
場 所	肱川公民館3階 集会室
出席者等	委員17名、県3名、市13名、報道機関1社
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・「肱川地区復興まちづくり計画(案)」について ・鹿野川地区河辺川沿い護岸整備事業について ・今後の進め方について

③ 第3回 肱川地区復興まちづくり推進協議会

日 時	令和2年5月29日(金) 19:00~19:47
場 所	肱川公民館3階 集会室
出席者等	委員19名、県5名、市13名、報道機関1社
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・「肱川地区復興まちづくり計画(案)」について ・今後の進め方について

肱川地区復興まちづくり推進協議会委員名簿

No.	区分	役 職	氏 名	備 考
1	住民 代表	肱川中央自治会長	会 長 笹 木 聖 児	
2		正山自治会長	福 山 保	
3		大谷自治会長	源 田 政 幸	
4		岩谷地域自治会長	寺 岡 勝 信	
5		予子林自治会長	山 中 康 弘	
6	地域	下鹿野川区長	向 井 富 重	
7		上鹿野川区長	中 居 優	
8		大洲市消防団 肱川中央分団	金 野 昭 一	
9		肱川愛あい会	沖 野 幸 美	
10		被災者代表	沖 野 亀代子	下鹿野川区・上鹿野川区
11		被災者代表	鳥 越 寛	大和区・中野区
12		被災者代表	櫻 田 和 明	八重栗区・山槌区
13		被災者代表	園 美智子	萩野尾区長
14		被災者代表	副会長 岩 田 仁 美	女子座談会
15		被災者代表	二 宮 潤 子	PTA
16	産業 教育 民生	川上商工会長	大 野 彰 一	中野区長
17		市教育委員会委員	山 内 光 郎	
18		市民生児童委員	福 田 紀 子	
19	市議会	市議会議員	大 野 立 志	
20		市議会議員	安 川 哲 生	

(5) 肱川地区複合公共施設整備検討部会

① 第1回 肱川地区複合公共施設整備検討部会

日 時	令和2年1月20日(月) 19:00~20:30
場 所	肱川公民館3階 集会室
出席者等	委員11名、市8名、報道機関1社
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設状況と複合施設整備について ・ワークショップ(施設に対する意見・要望など) ・今後の進め方について

② 第2回 肱川地区複合公共施設整備検討部会

日 時	令和2年2月20日(木) 19:00~20:30
場 所	肱川公民館3階 集会室
出席者等	委員16名、市8名、報道機関1社
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・複合公共施設の概要について ・ワークショップ(新施設の活用、各部屋イメージ) ・今後の進め方について

肱川地区複合公共施設整備検討部会 構成員名簿

No.	区分	役 職	氏 名	備考 (協議会委員)
1	住民代表	肱川中央自治会長・自主防災組織会長	笹 木 聖 児	○
2	住民代表	正山自治会長・自主防災組織会長	福 山 保	○
3	住民代表	大谷自治会長・自主防災組織会長	源 田 政 幸	○
4	住民代表	岩谷地域自治会長・自主防災組織会長	寺 岡 勝 信	○
5	住民代表	予子林自治会長・自主防災組織会長	山 中 康 弘	○
6	保健	健康推進員	沖 野 幸 美	○
7	防災	消防団肱川中央分団	金 野 昭 一	○
8	産業教育民生	川上商工会長	大 野 彰 一	○
9	産業教育民生	市教育委員会委員	山 内 光 郎	○
10	産業教育民生	市民生児童委員	福 田 紀 子	○
11	公民館	公民館長	富 永 喜 一	—
12	施設利用者	肱川ヨガ教室、健康運動教室など	銚 岩 久 世	—
13	老人会	肱川支部老人クラブ連合会長	河 野 美 治	—
14	地区社協	大洲市社会福祉協議会肱川支所	大 下 慶 子	—
15	P T A	肱川小学校 P T A 会長	岩 岡 広 志	—
16	P T A	肱川中学校 P T A 会長	二 宮 和 也	—

鹿野川地区復興スケジュール

市復興計画期間

※番号は計画の3-(3)「まちの再生」記載番号

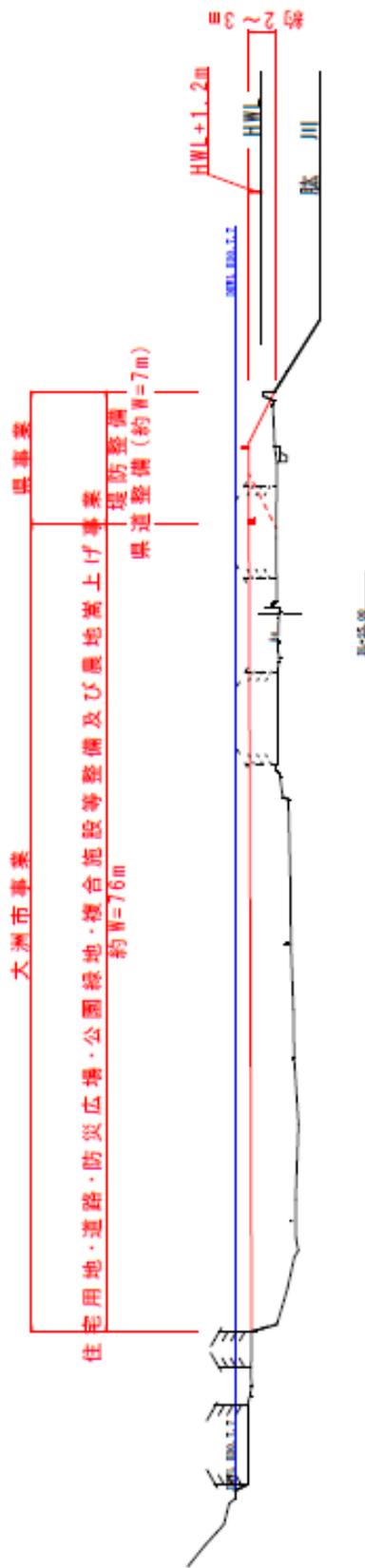
項目	概要	R1	R2	R3	R4	R5	R6年	R7年	備考
鹿野川地区復興まちづくり計画	・座談会、推進協議会 ・復興まち計画策定 (市復興計画「第2版」策定)	↑							
① 災害公営住宅	・建築設計 ・用地測量・物件調査 ・整備工事	↑	↑						
④ 複合公共施設	・整備内容の検討 ・基本・実施設計 ・施設整備工事	↑	↑	↑	↑				既存施設の移転・解体
⑤-1 (鹿川支所) 駐車場・広場整備 (緊急避難場所)	・鹿川支所解体工事 ・施設整備工事				↔				
⑥-2 (果道沿い) 駐車場・広場整備	・測量設計 ・施設整備工事			↔	↔				
⑦ 鹿野川バス待合所 (乗降所) 整備	・応急復旧 (現在地) ・施設整備工事	↔			↔				鹿川支所複合施設整備と併せ 既存施設の解体・移転
⑧ 鹿川中学校整備	・敷地高上工事 ・建築基本・実施設計 ・施設整備工事	↑	↑		↑				
② 河辺川護岸整備	・測量設計 ・用地測量・物件調査 ・施設整備工事	↑	↑		↑				
③ 急傾斜地崩壊対策事業	・施設整備工事	↑	↑		↑				
⑤-1 (主)小田河辺大洲線 路肩・歩道整備	・測量設計 ・用地測量・物件調査 (市) ・施設整備工事	↑	↑		↑				※河辺川右岸側の整備については別途検討
⑤-2 (主)鹿川公園線 路肩・歩道整備	・測量設計 ・用地測量・物件調査 ・施設整備工事	↑	↑		↑				鹿川中学校正門から鹿野川ダム方面の 整備は車道拡幅 W=4.0(5.0)m

大洲市

愛媛県

復興イメージ図

標準断面図



※現時点での復興イメージ図であり、今後、地元及び関係機関との調整等により変わる場合があります。

大川地区復興スケジュール(案)

	項目	概要	年次計画						備考
			R元	2	3	4	5	6年以降	
大洲市	事業計画策定	・基礎調査(現況調査)	↕						
	測量設計	・測量設計(工事に伴う)		↔					
	用地測量・物件調査	・用地測量・物件調査		↔	↔				
	用地買収・工事	・用地買収・物件補償 ・住宅用地、道路、広場等整備			↔	↔	↔	↔	
愛媛県	測量設計・用地測量・物件調査	・測量設計(工事に伴う) ・用地測量・物件調査	↔	↔	↔				
	用地買収・工事	・用地買収、物件補償 ・河川整備、道路整備			↔	↔	↔	↔	

令和2年6月12日

 施行済
 現在進行中
 今後の予定

※上記スケジュール(案)は、現段階のものであり、今後、地元及び関係機関等との調整により変わる場合があります。